

令和元年度 花育推進事業の取り組みについて

1 第2次新潟市花育推進計画 数値指標の取り組み

第2次新潟市花育推進計画 数値指標一覧							
指 標 名	単位	策定時 H26	H30	R1	目標時 R4	備考	
花育の普及啓発 (健康で豊かな心を培う)							
1	情報紙の発行部数	部	15,000	6,000	6,000	24,000	食と花の 推進課
2	花育関連講座の受講者数	人	2,740	2,815	2,203	3,300	食育・花 育センタ ー
3	花育の日・花育月間の推進	回	0	各年 2回	各年 2回	各年 2回	食と花の 推進課
家庭、学校、職場等での花育の推進 (健康で豊かな心を培う)							
4	花育マスターの派遣件数	件	105	105	- 紹介に変更	170	食と花の 推進課
5	花育団体体験プログラムやアグリ・スタディ・プログラム等の実施団体数	団体	30	67	82	70	食育・花 育センタ ー
6	保育所、幼稚園、小学校の地域との連携による花育活動実施率	%	48	54	60	60	
7	生産現場の花育活動登録数	件	2	2	2	20	
市民活動、地域活動としての花育の推進 (快適でやすらぎのある暮らしを満喫する)							
8	緑化活動推進事業の実施団体数	団体	390	358	348	400	公園水辺 課
「花や緑」あふれる自然や歴史、文化を次世代へ継承する花育の推進 (ふるさと新潟の四季が織りなす「花や緑」の自然や歴史文化を次世代に伝える)							
9	新潟の花や緑について生産者や流通の現場で学ぶ講座等の受講者数	人	290	241	120	330	
「花や緑」に親しむ場の整備 (ふるさと新潟の四季が織りなす「花や緑」の自然や歴史文化を次世代に伝える)							
10	多面的機能支払交付金事業を活用した植栽による景観形成等への取り組み率	%	77.6	86.0	85.7	90.0	農村整備 ・水産課

(各概要については次ページ以降に記載)

(1) 情報紙の発行部数

花育に関する様々な情報を紹介する「花育通信」を発行。花育関係者や公共施設、学校関係等に配布し、花育の普及啓発を行うとともに、ホームページなどの広報媒体を活用し情報を発信した。

発行部数・回数 6,000部/3回

配布場所 庁内関係課、学校及び保育園（小・中学校、幼稚園・保育園等）
区役所、公民館、図書館、花関連施設 花育関係講座受講者に配布 など

(2) 花育関連講座の受講者数

家庭における花育活動の推進のため、各種園芸講座、新潟の特色を活かした寄せ植えに関する講座、ハーブやアロマ等多種多様な講座を計90回開催し、2,203人が受講した。

(3) 「花育の日」の普及推進

「花育月間」・「花育の日」の普及推進については、4月・10月ともに、小売店の協力のもと、のぼり旗を掲揚するとともに、春の取り組みでは、食育・花育センター及びアピタ新潟西店において、のぼり旗を掲揚し、花の種やちらしを配布した。

秋の取り組みでは、食育・花育センターにおいて、子どもを対象に花の寄せ植え体験を実施した。また、11月に新潟空港で行われた「新潟空港そらフェスタ」で野菜の花クイズを実施し、500人の方が参加して、花育の絶好のPRとなった。

春、秋とも、小売店26社39店舗において、店独自の特典やサービスと連動した花の種の配布を行った。

(4) 花育マスターによる地域での花育活動の推進

令和元年度より、派遣制度から紹介制度に変更したことで、登録数が減少し、活動についても把握が困難となった。

(5) 団体プログラムの実施

いくとぴあ食花3施設が連携した団体プログラムを市内外の小学校や保育園・幼稚園等を対象に実施した。

令和元年度実績	実施校園数 82件 / 対象者 2,816人
内訳	小学校 40校 / 幼・保育園 34園 / 特別支援等 7校 / その他 1団体

(6) 保育所、幼稚園、小学校の地域との連携による花育活動実施率

コミュニティ協議会や自治会等、地域との連携による花を通じた世代間交流の取り組みについては、全体で60%と昨年度の54%と比べ、若干上昇した。

回答率 100%	市立小学校 106校		市立保育園 86園		市立幼稚園 10園		全 体 202校・園	
花育活動実施	102校	97%	67園	86%	10園	80%	179校・園	89%
地域連携	78校	72%	25園	27%	5園	50%	108校・園	60%
H30 地域連携	68校	72%	22園	27%	5園	50%	95校・園	54%

保育園における地域連携が低い理由については、小学校のように地域コーディネーターや用務員さん等がないため、すべて職員が担当する必要があり、余裕がない。

今後は、コミュニティ協議会等の地域団体と園との協働による花育活動への働きかけが重要。

◎地域連携をしていない理由

学校・保育園／①時間 ②予算 ③職員負担

(7) 生産現場の花育活動登録数

花卉生産組合や個人農家で、小学校等の受け入れを行っている事例はあるが、花育マスター登録には及ばず2団体に留まった。

(8) 緑化活動推進事業の実施団体数

公園水辺課所管の、公園等の公共施設で緑化活動を行う団体へ原材料等の補助を行い、緑豊かな街並みづくりを推進する事業。令和元年度は348団体が該当。

(9) 新潟の花や緑について生産者や流通の現場で学ぶ講座等の受講者数

秋葉区では、生産現場を巡るバスツアーを開催し、20人が参加した。また、食育・花育センター及び市内各地で開催したクリスマスローズ展において、生産者による栽培講習会を実施し、100名が参加した。(2月末以降はコロナ禍で中止)。併せて、四季島乗客へ花のプレゼントをすることにより、花生産のPRを行った。

加えて、チューリップ球根商業生産発祥100周年を記念し184品種のチューリップ球根の植え付けを行った。



(10) 多面的機能支払交付金事業を活用した植栽による景観形成等への取り組み

農村整備・水産課所管の、多面的機能支払交付金事業を活用した、地域協働による植栽やビオトープづくりなどの景観形成を通じた農村環境の緑化活動への取り組みを行った。

2 その他の取り組み

(1) 花育俳句

「花育」を知っていただく・感じていただく一環として「花や緑に関する俳句」を①小学生の部、②一般の部で募集し、全国から292人、543句の応募があった。

全句を食育・花育センターに掲示し、投票により各部門で優秀句3句を決定した。また、市ホームページにも全句を掲載した。

<小学生の部 優秀句>

- ・香りまで スケッチしました きんもくせい (山口県高千帆小学校 5年生)
- ・向日葵や 太陽を向き 長話 (新潟市西蒲区 6年生)
- ・「ママ、あげる」ダリアのかんむりでおひめさま (山口県高千帆小学校 1年生)

<一般の部 優秀句>

- ・去り難き 越後の空や 稲の花 (新潟市秋葉区 50代)
- ・君は知らない あの日渡した リナリアの意味 (東京学館新潟高校 16歳)
- ・ウォーキング 顔あげ探す 金木犀 (新潟市西区 60代)

3 関係団体と連携した取り組み

(1) にいがた花推進委員会と連携した「新潟の花を贈ろう」キャンペーン

	タイトル	日程	内容
1	母の日 「お母さんの好きな花を贈ろう」	5月3日(金・祝)～ 5月6日(月・祝)	・花店のギフト展示 ・パネル展示 ・花のある暮らしの提案
2	にいがたユリフェア 「大切な人に新潟産のユリを贈ろう」	7月12日(金)～ 15日(月・祝)	・ユリタワー展示 ・産地・品種紹介 ・花のある暮らしの提案
3	いい夫婦の日 「愛妻にチューリップを贈ろう」	11月15日(金)～ 17日(日)	・メイン装飾展示 ・花店のギフト展示 ・パネル展示 ・花のある暮らしの提案
4	愛妻の日 「愛妻にチューリップを贈ろう」	1月24日(金)～ 26日(日)	・チューリップタワー展示 ・パネル展示 ・花のある暮らしの提案
5	フラワーバレンタイン 「男性から女性へ花を贈る2月14日」	2月1日(土)～ 2月14日(金)	・フラワーバレンタインとチューリップのPR展示 ・チューリップ品種展示 ・花店のギフト展示(2/7～2/10) ・花束プレゼント

※会場 食育・花育センター

にいがたユリフェア	いい夫婦の日
	
愛妻の日	フラワーバレンタイン
	

(2) にいがた花絵プロジェクト実行委員会と連携した花絵制作

今年で27周年を迎える市民参加型プロジェクト「にいがた花絵プロジェクト」への支援を行い、多くの市民が参加して花絵を制作。

2019年は、G20新潟農業大臣会合開催を記念し「新潟市の花 チューリップでG20をお祝いしよう」をテーマに実施。

日 時 平成31年4月29日（月・祝）

会 場 新潟駅南口中央広場

 <p>市民公募ボランティア約 150 名が参加</p>	 <p>新潟駅南口 多くの市民が参加して花絵制作</p>
 <p>デザイン「みんなでおにぎり」 新潟デザイン専門学校 本間 茜さんのデザイン</p>	 <p>G20参加国の国旗を 花絵の世界地図に掲げてPR</p>

(3) 新潟市版「花いっぱいプロジェクト」

最盛期にもかかわらず、新型コロナウイルス感染症の影響で需要が減少している「チューリップ」の消費拡大を図った。

取組内容	
1	<p>市内小学校卒業生にチューリップのミニ花束をプレゼント</p> <p>受け取りを希望した小学校 91 校、特別支援学校 2 校、新大附属小学校の計 94 校(児童数約 5,600 人)</p> <p>期 間：卒業式が行われる 3/19 (木) ～25 (水) の 4 日間</p> <p>関係者：全農にいがた，教育委員会学校支援課，各学校，各区役所，食と花の推進課</p>  
2	<p>各区役所の窓口等にチューリップを装飾</p> <p>期 間：3/18 (水) から約 2 週間</p> <p>関係者：全農にいがた，各区役所，食と花の推進課</p>  
3	<p>JR 新潟駅構内におけるチューリップ等の花の装飾展示</p> <p>① JR 新潟駅 CoCoLo におけるチューリップアレンジメントの展示</p> <p>② 「TABI BAR & CAFÉ/Km-0 niigata lab」入口および店内におけるチューリップの装飾展示</p> <p>期 間：3 月 25 日 (水) ～31 日 (火)</p> <p>関係者：全農にいがた，JR 東日本新潟支社，(株)JR 東日本企画，食と花の推進課</p>   

令和元年度 花育推進事業の取り組みについて

1 第2次新潟市花育推進計画 数値指標の取り組み

第2次新潟市花育推進計画 数値指標一覧							
指 標 名	単位	策定時 H26	H30	R1	目標時 R4	備考	
花育の普及啓発 (健康で豊かな心を培う)							
1	情報紙の発行部数	部	15,000	6,000	6,000	24,000	食と花の 推進課
2	花育関連講座の受講者数	人	2,740	2,815	2,203	3,300	食育・花 育センタ ー
3	花育の日・花育月間の推進	回	0	各年 2回	各年 2回	各年 2回	食と花の 推進課
家庭、学校、職場等での花育の推進 (健康で豊かな心を培う)							
4	花育マスターの派遣件数	件	105	105	- 紹介に変更	170	食と花の 推進課
5	花育団体体験プログラムやアグリ・スタディ・プログラム等の実施団体数	団体	30	67	82	70	食育・花 育センタ ー
6	保育所、幼稚園、小学校の地域との連携による花育活動実施率	%	48	54	60	60	
7	生産現場の花育活動登録数	件	2	2	2	20	
市民活動、地域活動としての花育の推進 (快適でやすらぎのある暮らしを満喫する)							
8	緑化活動推進事業の実施団体数	団体	390	358	348	400	公園水辺 課
「花や緑」あふれる自然や歴史、文化を次世代へ継承する花育の推進 (ふるさと新潟の四季が織りなす「花や緑」の自然や歴史文化を次世代に伝える)							
9	新潟の花や緑について生産者や流通の現場で学ぶ講座等の受講者数	人	290	241	120	330	
「花や緑」に親しむ場の整備 (ふるさと新潟の四季が織りなす「花や緑」の自然や歴史文化を次世代に伝える)							
10	多面的機能支払交付金事業を活用した植栽による景観形成等への取り組み率	%	77.6	86.0	85.7	90.0	農村整備 ・水産課

(各概要については次ページ以降に記載)

(1) 情報紙の発行部数

花育に関する様々な情報を紹介する「花育通信」を発行。花育関係者や公共施設、学校関係等に配布し、花育の普及啓発を行うとともに、ホームページなどの広報媒体を活用し情報を発信した。

発行部数・回数 6,000部/3回

配布場所 庁内関係課、学校及び保育園（小・中学校、幼稚園・保育園等）
区役所、公民館、図書館、花関連施設 花育関係講座受講者に配布 など

(2) 花育関連講座の受講者数

家庭における花育活動の推進のため、各種園芸講座、新潟の特色を活かした寄せ植えに関する講座、ハーブやアロマ等多種多様な講座を計90回開催し、2,203人が受講した。

(3) 「花育の日」の普及推進

「花育月間」・「花育の日」の普及推進については、4月・10月ともに、小売店の協力のもと、のぼり旗を掲揚するとともに、春の取り組みでは、食育・花育センター及びアピタ新潟西店において、のぼり旗を掲揚し、花の種やちらしを配布した。

秋の取り組みでは、食育・花育センターにおいて、子どもを対象に花の寄せ植え体験を実施した。また、11月に新潟空港で行われた「新潟空港そらフェスタ」で野菜の花クイズを実施し、500人の方が参加して、花育の絶好のPRとなった。

春、秋とも、小売店26社39店舗において、店独自の特典やサービスと連動した花の種の配布を行った。

(4) 花育マスターによる地域での花育活動の推進

令和元年度より、派遣制度から紹介制度に変更したことで、登録数が減少し、活動についても把握が困難となった。

(5) 団体プログラムの実施

いくとびあ食花3施設が連携した団体プログラムを市内外の小学校や保育園・幼稚園等を対象に実施した。

令和元年度実績	実施校園数 82件 / 対象者 2,816人
内訳	小学校 40校 / 幼・保育園 34園 / 特別支援等 7校 / その他 1団体

(6) 保育所、幼稚園、小学校の地域との連携による花育活動実施率

コミュニティ協議会や自治会等、地域との連携による花を通じた世代間交流の取り組みについては、全体で60%と昨年度の54%と比べ、若干上昇した。

回答率 100%	市立小学校 106校		市立保育園 86園		市立幼稚園 10園		全 体 202校・園	
花育活動実施	102校	97%	67園	86%	10園	80%	179校・園	89%
地域連携	78校	72%	25園	27%	5園	50%	108校・園	60%
H30 地域連携	68校	72%	22園	27%	5園	50%	95校・園	54%

保育園における地域連携が低い理由については、小学校のように地域コーディネーターや用務員さん等がないため、すべて職員が担当する必要があり、余裕がない。

今後は、コミュニティ協議会等の地域団体と園との協働による花育活動への働きかけが重要。

◎地域連携をしていない理由

学校・保育園／①時間 ②予算 ③職員負担

(7) 生産現場の花育活動登録数

花卉生産組合や個人農家で、小学校等の受け入れを行っている事例はあるが、花育マスター登録には及ばず2団体に留まった。

(8) 緑化活動推進事業の実施団体数

公園水辺課所管の、公園等の公共施設で緑化活動を行う団体へ原材料等の補助を行い、緑豊かな街並みづくりを推進する事業。令和元年度は348団体が該当。

(9) 新潟の花や緑について生産者や流通の現場で学ぶ講座等の受講者数

秋葉区では、生産現場を巡るバスツアーを開催し、20人が参加した。また、食育・花育センター及び市内各地で開催したクリスマスローズ展において、生産者による栽培講習会を実施し、100名が参加した。(2月末以降はコロナ禍で中止)。併せて、四季島乗客へ花のプレゼントをすることにより、花生産のPRを行った。

加えて、チューリップ球根商業生産発祥100周年を記念し184品種のチューリップ球根の植え付けを行った。



(10) 多面的機能支払交付金事業を活用した植栽による景観形成等への取り組み

農村整備・水産課所管の、多面的機能支払交付金事業を活用した、地域協働による植栽やビオトープづくりなどの景観形成を通じた農村環境の緑化活動への取り組みを行った。

2 その他の取り組み

(1) 花育俳句

「花育」を知っていただく・感じていただく一環として「花や緑に関する俳句」を①小学生の部、②一般の部で募集し、全国から292人、543句の応募があった。

全句を食育・花育センターに掲示し、投票により各部門で優秀句3句を決定した。また、市ホームページにも全句を掲載した。

<小学生の部 優秀句>

- ・香りまで スケッチしました きんもくせい (山口県高千帆小学校 5年生)
- ・向日葵や 太陽を向き 長話 (新潟市西蒲区 6年生)
- ・「ママ、あげる」ダリアのかんむりでおひめさま (山口県高千帆小学校 1年生)

<一般の部 優秀句>

- ・去り難き 越後の空や 稲の花 (新潟市秋葉区 50代)
- ・君は知らない あの日渡した リナリアの意味 (東京学館新潟高校 16歳)
- ・ウォーキング 顔あげ探す 金木犀 (新潟市西区 60代)

3 関係団体と連携した取り組み

(1) にいがた花推進委員会と連携した「新潟の花を贈ろう」キャンペーン

	タイトル	日程	内容
1	母の日 「お母さんの好きな花を贈ろう」	5月3日(金・祝)～ 5月6日(月・祝)	・花店のギフト展示 ・パネル展示 ・花のある暮らしの提案
2	にいがたユリフェア 「大切な人に新潟産のユリを贈ろう」	7月12日(金)～ 15日(月・祝)	・ユリタワー展示 ・産地・品種紹介 ・花のある暮らしの提案
3	いい夫婦の日 「愛妻にチューリップを贈ろう」	11月15日(金)～ 17日(日)	・メイン装飾展示 ・花店のギフト展示 ・パネル展示 ・花のある暮らしの提案
4	愛妻の日 「愛妻にチューリップを贈ろう」	1月24日(金)～ 26日(日)	・チューリップタワー展示 ・パネル展示 ・花のある暮らしの提案
5	フラワーバレンタイン 「男性から女性へ花を贈る2月14日」	2月1日(土)～ 2月14日(金)	・フラワーバレンタインとチューリップのPR展示 ・チューリップ品種展示 ・花店のギフト展示(2/7～2/10) ・花束プレゼント

※会場 食育・花育センター

にいがたユリフェア	いい夫婦の日
	
愛妻の日	フラワーバレンタイン
	

(2) にいがた花絵プロジェクト実行委員会と連携した花絵制作

今年で27周年を迎える市民参加型プロジェクト「にいがた花絵プロジェクト」への支援を行い、多くの市民が参加して花絵を制作。

2019年は、G20新潟農業大臣会合開催を記念し「新潟市の花 チューリップでG20をお祝いしよう」をテーマに実施。

日 時 平成31年4月29日（月・祝）

会 場 新潟駅南口中央広場

 <p>市民公募ボランティア約 150 名が参加</p>	 <p>新潟駅南口 多くの市民が参加して花絵制作</p>
 <p>デザイン「みんなでおにぎり」 新潟デザイン専門学校 本間 茜さんのデザイン</p>	 <p>G20参加国の国旗を 花絵の世界地図に掲げてPR</p>

(3) 新潟市版「花いっぱいプロジェクト」

最盛期にもかかわらず、新型コロナウイルス感染症の影響で需要が減少している「チューリップ」の消費拡大を図った。

取組内容	
1	<p>市内小学校卒業生にチューリップのミニ花束をプレゼント</p> <p>受け取りを希望した小学校 91 校、特別支援学校 2 校、新大附属小学校の計 94 校(児童数約 5,600 人)</p> <p>期 間：卒業式が行われる 3/19 (木) ～25 (水) の 4 日間</p> <p>関係者：全農にいがた，教育委員会学校支援課，各学校，各区役所，食と花の推進課</p>  
2	<p>各区役所の窓口等にチューリップを装飾</p> <p>期 間：3/18 (水) から約 2 週間</p> <p>関係者：全農にいがた，各区役所，食と花の推進課</p>  
3	<p>JR 新潟駅構内におけるチューリップ等の花の装飾展示</p> <p>① JR 新潟駅 CoCoLo におけるチューリップアレンジメントの展示</p> <p>② 「TABI BAR & CAFÉ/Km-0 niigata lab」入口および店内におけるチューリップの装飾展示</p> <p>期 間：3 月 25 日 (水) ～31 日 (火)</p> <p>関係者：全農にいがた，JR 東日本新潟支社，(株)JR 東日本企画，食と花の推進課</p>   